

原稿

「8月とあさがお」 作者 鈴木 七海

P 1 「朝顔は？」

「8月に見に行く」

P 2 これは私の家でおばあちゃんに電話をするときの合言葉です。

P 3 なんでこんな合言葉があるのかお母さんにきいたことがあります。
これはおばあちゃんを守るためにあるんだって。

P 4 「これはね、私は家族だよって魔法の言葉なんだよ。」
おばあちゃんは私にそう教えてくれました。

P 5 ある日、おばあちゃんの家に行った時電話が鳴りました。

P 6 「もしもし。」

「もしもし。お母さん？オレだよ。じつは…。」

P 7 どうやらおばあちゃんはお父さんと電話をしてるみたいです。
だけど合言葉を言っていません。

P 8 「おばあちゃん、朝顔。」

「…朝顔は？」

「は？朝顔？それより…。」

おばあちゃんは電話を切ってしまいました。

P 9 聞いたらあの電話はお父さんではなく【詐欺】というものでした。
おばあちゃんは私に何度もありがとうと言ってくれました。

P 10 私はあの時ヒーローになったのです。

ヒーローになるための魔法の言葉。

詐欺から大切な人を守るヒーローがこれからいっぱい増えていくのを願ってます。

P 11 来年の夏もまた、私はおばあちゃんの家朝顔を見に行きます。